

素晴らしい漕ぎを見せた近藤さん（左）と山口さん

準決勝タイムが10位。タイム2分29秒81から18位の選手で競うでトータル15位の結果

九州カヌースプリント選手権大会兼九州高等学校カヌー新人大大会が10月25日から27日、大分県豊後高田市真玉カヌー競技場で行われ、近藤はなさん(212)が女子カヤックシングルでB決勝6位だった。

近藤さん「強い選手に刺激もらった」

悔しい。強い選手と一緒
 緒に漕ぎ、いい刺激を
 もらった」と話す。近
 藤さんとカヤックペア
 で出場した山口愛里さ
 ん(216)は「県外
 の強い選手を見て、ま
 だまだ練習が必要だ
 と努力不足を痛感した」
 と悔しい表情を浮かべ
 た。女子カヌー部キャ
 プテンの平野陽さん
 (213)は「長崎県

井先生がおっしゃって
いたので、あまり周り
の選手を見ないように、
自分の漕ぎに集中した」
●平野さん「どんなに
差がついていても、タ
イムを縮めるために最
後に速度を上げた」
次は来年の高総体。
中井先生考案のスペシャ
ルメニュー（月300
km）をやり抜きたい。
厳しい冬練を頑張り、
インターハイ出場を果
たしたいと気合十分だ。

新人大会で負けた相手に予選で勝って嬉しかった」と話した。

■試合中の気持ち
●近藤さん「ペースを相手に取られないように気を付けた。焦らないように意識した」
●山口さん「気持ちで負けたらいけないと中井先生がおっしゃっていたので、あまり周りを

伍さん(21)は「キャプテンの古賀裕一レベルの高い選手たちを直に見て戦い、経験を積めたと同時に、もっと速くなりたい」という気持ちが強まった。胸の内を明かす。選手倒され、自分の漕ぎに集中できなかったことが今大会の反省点だと話す。次の大会に向け、「今大会を通して、練習への熱意が一層高まった。この熱い気持ちを持ち続けて練習に励みたい」と前に進む。カヤック・シングル

10

とカヤック・ペアに出
場した三宅遥叶さん
(216)は「県予選
を勝ち抜いてきた強い
試合だった。今の自分
の出せる力は出し切れ
たのでよかった」と今
大会を振り返る。シン
グル・ペアともに中盤
以降にスピードが落ち、
バランスも崩してしまっ
たことが課題だと語る。
次の大会に向け、「他
の選手から学ぶことが
多かった。今回の経験
を活かし、来年の高総
体を最高の結果で終え
られるよう日々の練習
に打ち込みたい」と語
る。

力強い漕ぎをみせる山口さん(左)と三宅さん

A black and white photograph showing two male rowers in a double scull on a river. The rower on the left is identified as Yamaguchi, and the one on the right as Miyake. They are both wearing life jackets and holding oars. The water is calm, and the background is slightly blurred.

一)は「齒が立たない相手ばかりで苦戦した。本番前に悪天候が続く、練習が思うようにできなかつた」と悔やんだ。今まで以上に練習に励み、先輩方の功績と努力に負けないよう頑張りたいと先を見据えた。

来年の高総体二連覇達成に邁進してほしい。

(渡海・渋谷)

「応援してくれた皆さまに感謝」

吹奏楽部

長崎県



県民表彰が11月23日に行われ、吹奏楽部が特別賞を受賞した。

吹奏楽部旧部長の多賀友香さん(316)は「県民表彰式の舞台に立つことができて、光栄だった。このようないざいから支え、応援してくださる皆さんの感謝したい」と笑顔で話す。後輩に向けて

クレッシェンドポーズをする旧部長の多賀さん



んな時も感謝の気持ち
を忘れずに活動に励
んでほしい。これから
大変なこともあると思
うが、部活動はあつと
いう間に終わる。一瞬
一瞬を大切に、これか
ら演奏を通して西陵
高校を活気あふれる学
校にしてほしい」と激
励した。

新体制になった吹奏
楽部にも期待したい。

(渋谷)

森さん（左）と協園さん

大会が15日、長崎市民総合プールで行われ、協園結名さん(214)が50m平泳ぎ4位、森大葵さん(212)が50m平泳ぎ3位に入賞した。

協園さんは「大会前に体を痛め、十分な練習ができなかったが、

楽しかった」と笑顔で話し、「一年明け一発目の試合でコーチの笑顔を見れるように気持ち高めて頑張りたい」と前向き。協園さんには小学4年生からのライバルがおり、「何年も負けてばかり。来年の高総体では勝ちたい。死ぬ気で頑張っていく」と意気込んだ。

森さんは、「インターバルが短く、しっかりと泳げなかった。その分泳ぎのテンポ、フォームを完璧にできた」と自分の泳ぎを分析。自己ベスト更新を誇っていた反面、九州大会の標準タイムを切れなかったことを悔んだ。次の大会で西日本の標準タイムを切り、高総体に向けて弾みをつけたい」と抱負を掲げた。

(菅)

県高等学校冬季室内水泳競技大会

脇園さん	100m平泳ぎ3位
森さん	50m平泳ぎ3位

バスと同じ時間に起きて、行
き、授業が終るのと部
活に行き、帰る、勉強して
て家に。毎日、勉強して
たように。毎日、勉強して
れた。日々を過ごす。最
近、明日もまた同じ
ような過ごし方なんだ
ろうな」と思い、毎日
つまらなく感じている
いつも同じような日々
を送るなかで、楽しい
法を調べる。そして、毎
日の生活の中に、小さ
な目標を設定し、目標
達成すること、達成感
を得たり、友達や家族
との時間を大切に

て、日常に楽しみを加えて、またその日に感じる、たことを日記に書き、後から振り返ること、日常の小さな幸せに気づけるようにすること、は、いいようだ。今まで生活をつまらなく感じ、てしまっただけで終わっ、ていたため、これをい、その日に達成する目標、を決めて、目標に向かっ、て頑張り、目標を達成、する、ことで達成感を得たり、友だちや家族との時間を大切に、今自分、が当たり前に、と思っ、て、いることも、当たり前、として考えず、感謝し、て生活し、毎日同じこ、との繰り返し、日々の中、でも楽しんで、これか、らは、過ぎ、て、いき、たい。

(小松)

コラム
日々の幸せに
気づくために

る、またその日に感じ
たことを日記に書き、
後から振り返ることで
日常の小さな幸せに気

特集

め、各家庭の事情もあるため、ナプキンの返却は任意である。多くの生徒が賛成した「ナプキンの循環化」を継続するために、みなさんの協力が必要だ。助け合いの気持ちも欠かせない。ナプキンが少しずつ減少した今回の結果について、みなさんも自分なりに考えてほしいと思う。今回の企画に協力してくださったみなさま、本当にありがとうございました。(平山)